


オプションサービス機能説明

※転載等は固く禁じます

サービス概要	サービス名	
	3次元データビューア	3次元データビューア プロ
「工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 (Rev.5.1)」 「業務履行中における受発注者間の情報共有システム機能要件 (Rev.1.1)」 の必須機能に則した以下の機能をご提供します。	—	—
■3次元データ等表示機能	—	—
・表示範囲を指定して画面に拡大表示することができます	○	○
・画面に縮小して表示することができます。対象物全体が表示できるまで縮小して表示します。	○	○
・指定した中心点の周りを回転させて対象物を表示することができます。	○	○
・対象とするファイル形式はLandXML・IFCとします。	○	○
・指定する(又は、指定された)視点場より対象物を表示することができます。	○	○
・LAS形式の点群データを表示することができます。	○	○
・背景地図の変更や表示切替を行うことができます。(電子納品情報に系番号が入っていた場合) 以下の背景、地形に切り替えて表示することが可能です 地図：国土地理院地図、国土地理院空中写真、OpenStreetMap 地形：なし、国土地理院標高タイル (5m、10m)	×	○
・平面直角座標系が設定されている場合、標高補正が可能です。 テキストボックスは、-99.9~99.9の範囲で標高補正值を入力可能 スライダーは、-10.0~10.0の範囲で標高補正值を入力可能 ・点群ビューアは点密度、点サイズ、陰影表示の調整が可能です	×	○
■以下の機能から3次元ビューアを利用できます 「納品物等を作る」 →「登録・ダウンロード」 →「i-Construction(ICON)」又は「測量データ(SURVEY)」	○	○
■ファイルの拡張子に連動し、以下のいずれかのビューアが開きます。	—	—
・LandXMLファイル用ビューア (設計ビューワ) ・Lasファイル用ビューア (点群ビューワ) ・IFCファイル用ビューア (3Dモデルビューワ)	○	○
・ヘルプの表示方法	画面右上にある「？」ボタンから各ビューワごとのボタンの説明PDFをご確認下さい。	画面中央にある「？」ボタンをクリックすると、ポップアップで機能説明が表示されます。 右上の「？」ボタンは操作用のヘルプ画面が表示されます。
■対応ブラウザ ※画面上からヘルプを表示するため、マニュアル等のご用意はありません ※特に地図表示を行う際には、通信速度、ご利用いただくパソコンのスペックが影響しますのでご容赦ください。 ご利用推奨環境 必要解像度：1280 x 1024 ピクセル 以上 グラフィックス機能： OpenGL 3.2 もしくは OpenGL ES 2.0 以上※WebGLが実行可能であること グラフィックスメモリ： 512MB (1GB以上推奨)	IE11、Microsoft Edge	Microsoft Edge
画面表示例	<p>・ LandXMLファイル画面例</p> 	<p>・ Lasファイル画面例 (背景地図：国土地理院)</p> 
ご提供価格		
初期費用 (税抜価格)	0 円	0 円
月額費用 (税抜価格)	2,000 円	10,000 円

今後、さらにオプション機能を追加していきますのでご期待下さい。